

# 実験 第3回 HAKKO熱の実験コンテスト

## 募集 热コン

### —実験で熱の未来をクリエイター—

[www.hakko.co.jp/contest/](http://www.hakko.co.jp/contest/)

热コン

検索

八光電機Webサイトでは、「熱」を利用した身近な実験を紹介する「熱の実験室」を掲載していますが、これを発展させて社外に広め、全国の生徒・学生を対象に、「熱の実験コンテスト」を2006年から開催しています。

2017年からは、コンテストの内容を見直した「HAKKO熱の実験コンテスト」として再スタートしています。実験費用が2倍（10万円→20万円）になっていますので、ぜひ参加して、研究にお役立てください。

#### ■ 実験コンテストの概要

募集対象	： 「熱」に関連した実験
採用するチーム数	： 10チームを基本とするが、実験企画の審査結果により、実験チーム数をプラスまたはマイナスする場合がある。
実験費用	： 採用した実験チームに、20万円を支給する。支給時期は実験前後から選択し、実験前を選択した場合は、レポート提出の義務が生じる。実験後を選択した場合は、途中棄権可能。
表彰	： 賞金（金賞 30万円、銀賞 20万円、銅賞 10万円）と、表彰盾。

#### ■ スケジュール

応募締切	： 2019年5月15日（水）
実験チーム発表	： 2019年5月24日（金）（選ばれたチームに、実験費用20万円を支給します。）
実験レポート提出期限	： 2019年12月23日（月） (八光電機Webサイトに掲載できるレポートを提出してください。)
審査結果発表	： 2020年1月22日（水）（入賞チームに、賞金と表彰盾を贈ります。）

#### ■ コンテスト参加校

□ HAKKO熱の実験コンテスト（第1回～第2回）、八光熱の実験コンテスト（第1回～第10回）

高等学校：

秋田県立由利工業高等学校、岐阜県立岐阜農林高等学校、東京都立科学技術高等学校

高等専門学校：

一関工業高等専門学校、茨城工業高等専門学校、宇部工業高等専門学校、大島商船高等専門学校、金沢工業高等専門学校  
吳工業高等専門学校、高知工業高等専門学校、神戸市立工業高等専門学校、津山工業高等専門学校、鶴岡工業高等専門学校  
長野工業高等専門学校、奈良工業高等専門学校、沼津工業高等専門学校、福井工業高等専門学校、和歌山工業高等専門学校

大学：

秋田大学、茨城大学、岩手大学、大阪産業大学、神奈川大学、金沢工業大学、群馬大学、滋賀県立大学、信州大学、  
玉川大学、筑波大学、東京電機大学、徳島大学、名古屋大学、松本大学、山形大学、山梨大学

各大学は、大学院を含んでいます。

#### ■ 主催



株式会社八光電機  
Hakko Electric Co.,Ltd.

[www.hakko.co.jp](http://www.hakko.co.jp)

## ■ 応募要領

応募資格	： 日本国内の、高等学校・高等専門学校・短期大学・大学・大学院などの、生徒・学生のチーム。 (校内・学内で実験可能なチーム(グループまたは個人)とします。)
募集対象	： 「熱」に関連した実験。
実験内容の条件	： 「熱」または「温度」が、実験の中で重要になっていること。
応募方法	： 「HAKKO熱の実験コンテスト」のサイト ( <a href="http://www.hakko.co.jp/contest/">www.hakko.co.jp/contest/</a> ) にアクセスし、応募フォームの記載内容にしたがってください。
応募規定	： <ul style="list-style-type: none"><li>校内・学内での活動に、学校から了承が得られること。</li><li>団体名・チーム代表者名を、八光電機Webサイトで公表できること。</li><li>八光電機Webサイトで公開できる実験であること。</li><li>他者の著作権などを侵害していない実験であること。</li></ul> <p>(著作権侵害が見つかった場合、実験費用・賞金の返却を求める場合があります。)</p>
実験機材	： 実験に必要な機材で、デモ機が用意されている当社製品については、貸与できる場合があります。
著作権・ 知的財産権	： <ul style="list-style-type: none"><li>実施した実験に関する著作権は、当社が所有するものとします。</li><li>実験結果により、特許出願などが必要になったときは、当社との共同出願とします。実験者および所属組織窓口との協議により、決定します。</li></ul>

## ■ Q&A

Q コンテストは、会場で実験を行なうのでしょうか？

A 会場では行いません。校内・学内で実験を行ない、レポートにして提出してください。レポートを審査します。

Q 実験レポートの提出が間に合わない場合は、どうなりますか？

A 実験が意図したところまで進行できなかった場合も、レポートは必ず期限内に提出してください。実験完了後に追加レポートの提出をお願いします。追加レポートは審査対象になりません。なお、実験費用が支給されていない場合（実験後の支給を選択した場合）は、途中棄権が可能です。

Q 実験費用・賞金は、どのように支払われますか？

A 実験費用および賞金は、銀行振込みでお支払いします。振込み先は、個人でも学校でも可能です。実験費用の支給時期については、実験前後から選択し、実験前を選択した場合は、実験レポートの提出義務が生じます。

Q 実験費用について、明細・決算報告は必要ですか？

A 当社では管理しませんので提出不要ですが、経費とする場合に必要ですので、明細を残しておくことをお奨めします。

Q 実験費用・賞金に関する税金は、どうなりますか？

A 個人が受け取る場合は「一時所得」に該当し、経費を控除し、更に50万円の特別控除があるので、課税対象外です。

Q 賞金は、個人で使ってしまっても良いですか？

A 校内・学内で実験を行なっていただきますので、その点にはご配慮をお願いします。主催者としては、できるだけ学内の研究に、賞金を役立てていただきたいと考えてあります。